

令和5年調査
酒類業実態調査表 A

氏名又は名称			
調査対象期間			
事業年度（個人は令和4年分）			
自	年	月	日
至	年	月	日

連絡先	部署名				業者番号			
	担当者名				電話番号			

(注) 記載の内容について問い合わせる場合がございますので、担当者名等をご対応できる方の氏名を記入してください。

左記期間中における 酒類の製造又は卸売業 に係る売上の有無	<input type="checkbox"/> 有	⇒	別紙2「調査対象品目について」で該当する調査表をご提出ください。
	<input type="checkbox"/> 無	⇒	<input type="checkbox"/> 年 月以降開始予定 調査表A及びアンケートをご提出ください。
		⇒	<input type="checkbox"/> 卸売業の予定なし 調査表Aのみご提出ください。

1 令和5年1月1日の直前に終了した事業年度（個人事業者においては令和4年分）における確定した決算の額及び年平均の従業員数を記入してください。

酒類製造業及び卸売業毎の売上高等ではなく、個人または法人で行っている事業全体の売上高等を記入してください。
酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造者等の調査表のみに記入してください。

	令和5年1月1日の直前に終了した事業年度（個人事業者においては令和4年分）における確定した決算の額															
	内 酒 類 事 業				卸 売				小 売							
売上高（千円）	109				110				111				112			
売上原価（千円）	113				114				115				116			
販売費及び一般管理費（千円）	117				118				119				120			
税引前当期純利益（千円）	121															
資本金（千円）	126															
従業員数	年 平 均				内 酒 類 事 業											
	127				128											
従業員給与額（千円）	年 総 額				内 酒 類 事 業											
	129				130											

(注) 従業員数は原則年平均で記入してください。年間を通じて大きい変動がない場合（季節雇用の従業員がいないなど）は、事業年度末（個人は、令和4年末）の人数を記入していただいても構いません。

(注) 従業員給与額は年総額で記入してください。従業員給与額のうち、酒類事業に携わる従業員給与が区分できない場合には合理的に按分して記載してください。

2 令和5年1月1日の直前に終了した事業年度（個人事業者においては令和4年分）における、リベートの額を記入してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合、「リベート取引額（122及び124）」欄は事業全体の取引額、「内 酒類事業（123及び125）」欄は製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

	リベ ー ト 取 引 額															
	内 酒 類 事 業															
受取リベート（千円）	122				123											
支払リベート（千円）	124				125											

令和5年調査
酒類業実態調査表D①

調査対象期間
事業年度 (個人は令和4年分)

氏 名 又 は 名 称

個別項目 (清酒)

1 清酒製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)					清 酒 の 生 産 費 等 製 造 原 価 (千円)					清酒製造業の従業員数 (人)					
課 税 売 上 高	211				原 材 料 費	原 料 米 代	米 代	220				製造部門	223		
未 納 税 売 上 高	212						引取諸掛	221					詰口部門	224	
そ の 他	213					そ の 他	222					そ の 他	225		
計	214				課 税 移 出 数 量 (リットル)					計	226				
課 税 売 上 原 価	215				移 出 地 域	自 県 分	227								
未 納 税 売 上 原 価	216					自 県 以 外 の 自 局 分	228								
そ の 他	217					他 局 分	229								
計	218				計		230								
販売費及び一般管理費	219														

2 未納税移出入数量及び未納税取引先数については、桶売り・桶買い等の取引の数量及び取引先数を記入してください。

区 分	実 数 量 (リットル)				取 引 先 数 (者)			
未 納 税 移 出	231				233			
未 納 税 移 入	232				234			

3 清酒製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

210	
-----	--

令和5年調査
酒類業実態調査表E①

調査対象期間 事業年度 (個人は令和4年分)

氏 名 又 は 名 称

個別項目 (単式蒸留焼酎)

1 単式蒸留焼酎製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)				単式蒸留焼酎の生産費等製造原価 (千円)				単式蒸留焼酎製造業の (人)					
課税売上高	307			原材料費	主原料代 (米、芋及び黒糖代等)	316				製造部門	320		
未納税売上高	308				その他	317				詰口部門	321		
その他	309			焼酎粕の処理費				その他	322				
計	310			総額 (千円)				318			計	323	
課税売上原価	311			トン当たりの処理単価 (円)				319					
未納税売上原価	312												
その他	313												
計	314												
販売費及び一般管理費	315												

2 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区 分	数量 (25度換算) (リットル)				取引先数 (者)			
未納税移出	324				326			
未納税移入	325				327			

3 自社間の移出入を除く未納税移出入の状況を製造場ごとに原材料別の数量を上位5場について記入してください。

328	移出先製造場名	329	原材料別	330	未納税移出数量 (25度換算) (リットル)	331	単価 (円)	332	移入元製造場名	333	原材料別	334	未納税移入数量 (25度換算) (リットル)	335	単価 (円)

4 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

306	
-----	--

令和5年調査
酒類業実態調査表E②

調査対象期間
暦年 (令和4年1月1日から 令和4年12月31日)

氏名又は名称	調査対象期間（調査期間が暦年以外の場合）
	自 年 月 日
	至 令和4年 月 日

個別項目（単式蒸留焼酎）

5 原材料別に記入してください。

暦年で記入できない場合は、事業年度で記入していただいても差し支えありません。その場合、具体的な期間を右上の「調査対象期間」欄に記入してください。

原 材 料 別	301 製 成 数 量 (リットル) (25 度 換 算)			302 売 上 数 量 (リットル) (国 内 取 引)			303 売 上 金 額 (千円) (国内取引)(税抜)			304 輸 出 数 量 (リットル)			305 輸 出 金 額 (千円)		
芋 焼 酎															
米 焼 酎															
麦 焼 酎															
そば 焼 酎															
黒 糖 焼 酎															
かす取り焼酎															
泡 盛															
その他の単式蒸留焼酎															
焼酎乙類甲類混和															
合 計															

令和5年調査
酒類業実態調査表G

調査対象期間
事業年度 (個人は令和4年分)

氏名又は名称

個別項目（果実酒）

個別項目（調査表G及びH①～H④）は、果実酒のうち、ぶどうを原料としたものについて記入してください。

※ 果実酒のうち、ぶどう以外の果実のみを用いたもの（例えば、りんごを100%使用したシードル）は、調査対象に含まれません。

日本ワインとは、「果実酒等の製法品質表示基準」に規定する、原料の果実として国内で収穫されたぶどうのみを使用し、国内で製造された果実酒をいいます。

1 日本ワイン及び日本ワイン以外のものに係る、令和5年1月1日の直前に終了した事業年度（個人は令和4年分）における確定した決算の額を記入してください。

売上原価	501	千円
内 原料費	502	千円
販売費及び一般管理費	503	千円

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの販売数量について容量別に記入してください（調査対象期間は上記1と同様です。）。

容量別	販売数量 (リットル)
375ml	504
720ml	505
750ml	506
1.8L	507
その他	508

令和5年調査
酒類業実態調査表H①

調査対象期間
令和4年4月1日から 令和5年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

1 外国産ワインの輸入数量

原料用 (リットル)	販売用 (そのまま販売容器に充填して 移出するために輸入したワイン) (リットル)
509	510

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの課税移出数量及び未納税移出数量

区分	数量 (リットル)		
	合計		内 日本ワイン
課税移出数量	511		512
未納税移出数量	513		514

令和5年調査
酒類業実態調査表H②

調査対象期間
令和4年4月1日から 令和5年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

3 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの自社製造状況

※ この表には、令和4年4月1日から令和5年3月31日の間、①自社において生ぶどう等を発酵させて最初に製成した日本ワインの数量及び②自社において原料を発酵させて最初に製成した日本ワイン以外のものの数量を記入してください。

区分	① 日本ワイン										② 日本ワイン以外のもの																	
	数量										数量																	
	赤ワイン		白ワイン		スパークリングワイン		その他ワイン (ロゼワインを含む。)		合計		合計																	
製成数量	515	(リットル)	516	(リットル)	517	(リットル)	518	(リットル)	519	(リットル)	524	(リットル)																
使 産 用	国産	/								生ぶどう	520	(キログラム)	525	(キログラム)														
	ぶどう果汁									521	(リットル)	526	(リットル)															
	その他									522	(キログラム)	527	(キログラム)															
	糖度20度換算									523	(キログラム)	528	(キログラム)															
原 輸 料 入	濃縮果汁									/									529	(リットル)								
	糖度20度換算																		530	(キログラム)								
	生ぶどう																		531	(キログラム)								
	その他																		532	(キログラム)								
																									533	(キログラム)		

令和5年調査
酒類業実態調査表H③

調査対象期間
令和4年4月1日から 令和5年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

4-1 国産ぶどうの受入状況等

① 自営農園による国産ぶどうの受入状況等

品 種 名 番号	ぶどうの産地	棚 栽 培	垣 根 栽 培
	都 道 府 県 名	収 穫 量 (キログラム)	収 穫 量 (キログラム)
計	534		535

② 契約栽培による国産ぶどうの受入状況等

品 種 名 番号	ぶどうの産地	棚 栽 培	垣 根 栽 培
	都 道 府 県 名	収 穫 量 (キログラム)	収 穫 量 (キログラム)
計	536		537

令和5年調査
酒類業実態調査表H④

調査対象期間
令和4年4月1日から 令和5年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

4-2 国産ぶどうの受入状況等

③受託醸造による国産ぶどうの受入状況等

番号	品種名	ぶどうの産地		受入数量 (キログラム)
		都道府県名		
計		538		

④購入による国産ぶどうの受入状況等

番号	品種名	ぶどうの産地		受入数量 (キログラム)
		都道府県名		
計		539		

輸出に関するアンケート表 I

氏 名 又 は 名 称

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造業者等のアンケート表に記入してください。

○ 現在、輸出を行っている方（卸売業者等を通じて輸出を行っている方も含みます。）にお尋ねします。

（Q1～7にご回答ください。）

Q1 令和3年から令和4年にかけて、輸出数量が増加した方にお尋ねします。増加した理由として、最も近いものを以下から選択してください。

- 1：すで取引のある販売先の受注量が増加した
- 2：輸出している国・地域において、新たな販売先を拡大した
- 3：今まで輸出していない国・地域で新たな取引を開始した
- 4：不明

Q2 今後（5年後程度）の輸出数量又は輸出金額の目標として、最も近いものを以下から選択してください。

- 1：拡大（現状より1.2倍程度増加）
- 2：拡大（現状より1.5倍程度増加）
- 3：拡大（現状より2倍程度増加）
- 4：拡大（現状より3倍以上増加）
- 5：現状維持
- 6：縮小
- 7：撤退

Q3 Q2で「1」、「2」、「3」又は「4」を選択した方にお尋ねします。輸出数量等の拡大について、どのような方法をお考えですか。最も近いものを以下から選択してください。

- 1：すで取引のある販売先での受注量を増加させたい
- 2：輸出している国・地域において、新たな販売先を拡大したい
- 3：今まで輸出していない国・地域で新たな取引を開始したい

「3」を選択した方は、具体的な国名を最大3か国、別紙7「国一覧」から選択してください。

また、その理由を記載してください。

国番号	国名	理由

Q4 Q2で「1」、「2」、「3」又は「4」を選択した方にお尋ねします。輸出数量を増加するための課題は何ですか。最も近いものを以下から選択してください。

- 1：現地での知名度向上や需要拡大
- 2：現地の市場動向などの情報収集
- 3：代理店・パートナー探し
- 4：海外営業のための経費負担
- 5：人材の確保
- 6：資金の確保
- 7：製造規模
- 8：その他

	（8：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	---------------------------------

輸出に関するアンケート表J

氏 名 又 は 名 称

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造業者等のアンケート表に記入してください。

Q 5 製造者の方のみにお尋ねします。輸出の取引形態について、主なものを以下から選択してください。

- 1：自社から円建てにより国内の卸・商社へ出荷 2：自社から外貨建てにより国内の卸・商社へ出荷
3：自社から円建てにより現地輸入業者・小売へ出荷 4：自社から外貨建てにより現地輸入業者・小売へ出荷

Q 6 製造者の方のみにお尋ねします。海外における販促活動の方法は次のうちどれですか。

最も近いものを以下から選択してください。

- 1：卸・商社に任せている 2：卸・商社と一緒に海外に行って実施している
3：自社で海外へ行って実施している 4：販促活動は行っていない

Q 7 今後の輸出拡大に向けて、政府に期待する取組・施策があれば、ご自由に記入してください。

○ **現在、輸出を行っていない方（過去に輸出を行ったことがある方を含みます。）**にお尋ねします。

（Q 8～10にご回答ください。）

Q 8 今後、輸出を検討していますか。

- 1：1年以内に開始（再開）予定 2：将来的には開始（再開）することを検討中 3：今後も行わない

Q 9 Q 8で「1」又は「2」を選択した方にお尋ねします。今後、輸出を検討している国はどこですか。

最大3か国まで選択してください。

国番号	国名

Q 10 Q 8で「3」を選択した方にお尋ねします。その理由について、最も近いものを以下から選択してください。

- 1：人手が足りない 2：資金がない 3：輸出に関する知識がない
4：将来的にも国内販売で経営が成り立つ 5：その他

	（5：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	---------------------------------

酒類行政に関するアンケート表K

氏 名 又 は 名 称

Q1 (酒類製造者の方のみご回答ください。)「酒類における有機の表示基準」(平成12年12月26日国税庁告示第7号)に基づき「有機」又は「オーガニック」の表示をする酒類の数量を記入してください(対象期間は暦年です。)

品 目	有 機 酒 類 の 状 況 (リットル)							
	輸 出 免 税 数 量				課 税 移 出 数 量			
清 酒								
合 成 清 酒								
連 続 式 蒸 留 焼 酎								
単 式 蒸 留 焼 酎								
み り ん								
ビ ー ル								
果 実 酒								
甘 味 果 実 酒								
ウ イ ス キ ー								
ブ ラ ン デ ー								
原 料 用 ア ル コ ー ル								
発 泡 酒								
そ の 他 の 醸 造 酒								
ス ピ リ ッ ツ								
リ キ ュ ー ル								
粉 末 酒								
雑 酒								
合 計								

Q2 酒類行政に関する御意見等があれば記入してください。

--